

2013年4月3日

ネットワーク仮想化ソリューションを開発する 日本発のグローバルIT技術ベンチャーへの投資を決定

株式会社産業革新機構（以下「INCJ」）（東京都千代田区、代表取締役社長 能見公一）は、日本発のネットワークの仮想化ソリューション開発ベンチャーである Mido Holdings Ltd.（以下「ミドクラ」）（スイスローザンヌ/東京都港区、共同創業者 加藤隆哉およびダン・ミハイ・ドミトリウ）に対し、同社の今後の製品開発、事業開発に必要な成長資金として12億円を上限とする投資を決定いたしました。

コンピュータ／ネットワークインフラ業界は、スマートフォンやクラウドコンピューティングの本格普及に伴うネットワークトラフィックの急激な成長を背景として、データセンター事業者やインターネット企業においてネットワーク機能拡大やその構成の柔軟かつ迅速な変更のニーズが強まり、かつて無かった水準の変曲点を迎えています。

こうした流れを受け、コンピュータ／ネットワークインフラ業界においてネットワークの仮想化技術（ソフトウェア化）を実現する Software Defined Networking（「SDN」）市場は、2012年以降、グローバルのみならず日本においても、ネットワークに関わる事業者やテクノロジー系の各種媒体から大きな注目を集め、今後、本格的な市場立ち上がりが見込まれています。

ミドクラは、複数のIT系上場企業経営者として経験豊富な加藤隆哉氏（ミドクラ取締役会長）と、アマゾンドットコム（米国）におけるトップエンジニアでありスイス連邦工科大学ローザンヌ校フェローとして活躍したダン・ミハイ・ドミトリウ氏（ミドクラ取締役CEO/CTO）が、2010年1月に東京で設立した、ネットワーク仮想化技術の開発に特化した日本発のグローバルIT技術ベンチャーです。

また、ミドクラが開発するネットワーク仮想化ソリューションである「MidoNet」は、SDN市場において世界的にも類のない分散型アーキテクチャーを強みとし、ネットワーク構築・変更の柔軟性、設備投資およびネットワーク運用に係るコストメリットなどの点が評価され、国内外のデータセンター事業者、キャリア／ネットワーク事業者、インターネット企業から高い注目を受けています。

なお、現在、ミドクラはグーグル、アマゾン、シスコシステムズ、ソニー、NTT、NECなどの国内外企業出身の経験豊富なエンジニア、事業スタッフ等の起用および最適な開発体制構築のため、日本のみならず、北米、欧州において開発活動を展開し

ています。

INCJ は、ミドクラのグローバルな開発体制の充実および営業・サポート体制の増強に向けての必要資金を供給するとともに、社外取締役の派遣、国内外企業との協力体制の構築等の経営面でのサポートを行い、日本発のグローバル IT 技術ベンチャーの成長の推進を目指します。

Mido Holdings Ltd. (ミドクラ) について

設立： 2010年1月

事業内容： ネットワーク仮想化ソリューションの開発

事業所： スイスローザンヌ、東京都港区、米国サンフランシスコ、
スペインバルセロナ

取締役： 会長 加藤隆哉 CEO/CTO ダン・ミハイ・ドミトリウ

従業員数： 6カ国籍 26名 (2013年4月1日現在)

HP： <http://www.midokura.jp/>

株式会社産業革新機構 (INCJ) について

INCJ は、2009年7月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約2兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJ は、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

INCJ では、これまでに合計38件・総額約6000億円の投資決定を発表しました。当面、環境エネルギーにも関連するエレクトロニクスやITの分野、バイオ・ライフサイエンス分野、水ビジネス等インフラ関連分野などにおいて、知財ファンドによる先端的な基礎技術の事業展開、ベンチャー企業等の事業拡大、技術等を核とした事業の再編・統合、海外企業の買収等による積極的な海外展開などに対してハンズオン投資を行ってまいります。

(本発表資料のお問い合わせ先)

(株)産業革新機構 (INCJ) 企画調整室 市原・小林・望月

東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング21階

電話：03-5218-7200 (大代表)